

2008 年 1 月 25 日

株式会社みずほコーポレート銀行

インド最大手銀行 インドステイト銀行との包括業務提携契約締結について

株式会社みずほコーポレート銀行（頭取：齋藤宏）は、インド最大の銀行であるインドステイト銀行（正式名：State Bank of India、会長：Mr. O. P. Bhatt）と、それぞれの法人取引基盤や業務ノウハウを相互に活用し、シンジケートローン、トレードファイナンス及びインフラファイナンスなどの業務分野についての連携を強化することを目的として、包括的な業務提携契約を締結致しました。インド国内の金融機関とこのような業務提携を行うのは、メガバンクとしては初めてです。

インドは、人口 11 億人（中国に次ぎ世界第 2 位）、06 年名目 GDP7,951 億ドル（世界第 13 位、アジアでは日本・中国・韓国に次ぎ第 4 位）、実質 GDP 成長率 9.6%を誇るアジアの経済大国です。BRICsの一カ国として、今後の経済成長に対する期待は年々高まっており、日系企業の進出が近年急増しているほか、インフラ整備に伴う各種大型プロジェクトも進行するなど、数多くのビジネス機会が見込まれております。

当行は、既にムンバイ及びニューデリーに支店を開設しておりますが、今次提携により、インドステイト銀行が持つインド国内の支店網や各種情報を活用したサービスをご提供することが可能となることで、お客さまのインドにおける事業展開をよりきめ細かくサポートさせていただきます。

当行といたしましては、インドの地場企業、インドに進出されているお客さまだけでなく、進出を検討されているお客様に対し、より良いサービスをご提供させていただくべく、今後とも、サービスの高度化を推進してまいります。

以上

【ご参考：インドステイト銀行について】

インドステイト銀行は、資産規模でインド最大の銀行。インド国内に 14,000 店舗超（含むグループ会社）のネットワークを展開するほか、大企業取引やインフラファイナンスにも強みを持っている。また、インド国外 32 ヶ国に 84 拠点を展開、インドでの外国為替ビジネスで大きなシェアを占めている。